

【参考資料】

原子力災害対策に関する県の取組

(平成23年12月31日現在)

◎放射能の影響調査等

支援策	概要	所管
1 環境放射能の調査	①空間放射線量の測定(県内7地点で実施) ②水道蛇口水、降下物に含まれる放射能量の測定(県保健環境センターで実施)	環境森林部
2 水道水の放射能影響調査	水道水中に含まれる放射線量の測定 ・県内全市町にて実施	保健福祉部
3 航空機によるモニタリング調査	県内全域の ①地表面から1mの高さの空間線量率 ②地表面における放射性物質の蓄積状況 (H23年7月12日～7月16日)	県民生活部
4 教育機関等における放射線量調査	①県内全小・中・高校、特別支援学校、幼稚園及び保育所の園庭・校庭の放射線量の測定 (H23年5月13日～19日 1,266カ所実施) ②前回測定時に毎時1マイクロシーベルトを超えた学校等に対する校庭等の放射線量の再測定 (H23年6月6日～7日 31施設30カ所) ③再測定対象であった31施設30カ所に対する文部科学省指定方法による放射線量の測定 (H23年6月20日～21日 31施設30カ所) ④土壌処理に伴う確認調査の実施 (平成23年8月30日、31日及び11月22日、12月5日 29施設29カ所)	県民生活部 経営管理部 保健福祉部 教育委員会
5 教育施設等の校庭等の表土除去に対する助成	H23年6月6日～7日に行った放射線量の再測定において、毎時1マイクロシーベルトを超えた学校等の表土除去に対する助成 補助対象: 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校	県民生活部 経営管理部 保健福祉部 教育委員会
6 消費生活相談に係る放射性物質簡易検査	①県消費生活センターの消費生活相談に係る商品テストの一環として、H23年12月19日から放射性物質簡易検査を実施 ②県がモニタリング検査を実施しているもの以外の生鮮食料品や自家消費(家庭菜園)の野菜等が主に対象 ③H23年12月28日までに受け付けた相談件数等 相談件数(県内消費生活センター受付) 315件 うち検査を実施することとなった件数 40件(26件は検査済)	県民生活部
7 県産農林水産物の放射能モニタリング検査	①農産農林水産物モニタリング検査 県産農産物の出荷制限の可否を判断するため、モニタリング検査を実施中 ○野菜類(63品目、480検体) ・果菜類(きゅうり、なす、トマト、メロン、いちご、赤とうがらし等) ・葉菜類(レタス、にら、ほうれん草、春菊、キャベツ、レタス等) ・花蕾類(ブロッコリー、カリフラワー) ・茎菜類(ねぎ、アスパラガス、たまねぎ、うど等) ・穀物類(スイートコーン) ・根菜類(にんじん、大根、かぶ、ごぼう、しょうが、やまのいも等) ・いも類(馬鈴薯、かんしょ、里芋、こんにやくいも等) ・果実類(ブルーベリー、ぶどう、なし、りんご、くり、ゆず、かき等) ・豆類(いんげん、枝豆、落花生) ・穀類(夏そば、秋そば、はとむぎ) ・茶 ○特用林産物(97検体) ・しいたけ、なめこ、くりたけ、ひらたけ、わさび等 ○畜産物(85検体) ・原乳、牛肉(全頭検査後の牛肉除く)、豚肉、鶏卵 ○水産物(33検体) ・鮎、ヒメマス、ヤシオマス、ワカサギ ○麦(4麦種 263検体) ○米(予備検査 75検体、本検査177検体) ○大豆(56検体)	農政部 環境森林部 保健福祉部

◎放射能の影響調査等(つづき)

支援策	概要	所管
8 地域の要請に基づく農産物等の検査	<p>各農業振興事務所に設置したNaIシンチレーション検出器を活用し、市町や農業者からの依頼に基づき、農産物や土壌等の放射性物質を実施し、農産物の安全性の確認や農業生産の指導に活用</p> <p>①農産物のスクリーニング検査 市町からの依頼に基づき、出荷される前の農産物を対象とした検査。学校給食や農産物直売所へ供給される地元農産物も、この検査の中で対応</p> <p>②農業生産の基礎的条件検査 農業者の依頼に基づき、土壌、堆肥などを対象とした検査</p>	
9 牧草等の放射能モニタリング検査	<p>①牧草: 県内を5地域に分け、サンプリング・分析を実施</p> <p>②青刈りとうもろこし、稲わら、稲発酵粗飼料: 作付け面積、飼養頭数、牧草の解除状況等を考慮し、サンプリング・分析を実施</p>	
10 堆肥等の調査	<p>①園芸農家が施用する堆肥について、66点をサンプリング、分析を実施</p> <p>②牛ふん堆肥: 酪農、肥育牛農家の堆肥は、県内を14地区に分けサンプリング、分析を実施。繁殖農家等の堆肥は、689戸を個別にサンプリング、分析を実施</p> <p>③腐葉土: 業者の実態調査により、暫定許容値を超える製品を製造・販売していた業者に対し、製造の自粛及び自主回収を要請した。業者が販売店から自主回収した製品は約30万袋</p> <p>④稲わら及びもみ殻: 県内を11地区に分け、計75点のサンプリング、分析を実施</p>	農政部
11 農地土壌の調査	<p>①県内14カ所の水田土壌調査を実施し、水稻の作付けに支障がないことを確認</p> <p>②県内全域の農耕地を10kmメッシュで区切り、48地点の調査を実施した。さらに、調査結果に基づき、放射性物質濃度が高かった地域を2.5kmメッシュで区切り、221地点を設定し詳細調査を実施中。3月末までに国が結果を公表する予定</p>	
12 県内飼養牛の全頭検査	<p>安全管理体制の確立のため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数を調整しながら、県内及び県外と畜場の協力を得て全頭検査を実施する ・飼養管理の徹底を継続して実施する 	
13 野生鳥獣の放射性物質調査	<p>イノシシ・シカ等のモニタリング調査【環境森林部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や猟友会等の協力を得て、県内で捕獲されたイノシシ・シカ等のモニタリング調査を実施する <p>イノシシの全頭検査【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那珂川町イノシシ肉加工施設における安全管理体制の確立のため、出荷・検査方針に基づき全頭検査を実施する 	環境森林部 農政部

◎放射能の影響調査等(つづき)

支援策	概要	所管
14 輸出品に対する規制への対応	<p>輸出される食品等に関する証明書の発行 【H23年12月31日現在 10ヶ国・地域、1,048件】</p> <p>ア)H23年3月11日より前に産出又は最終加工された食品等についての日付証明の発行〔101件〕</p> <p>a)EU・EFTA向け(4月11日～、85件) b)シンガポール向け(5月10日～、2件) c)韓国向け(5月10日～、3件) d)マレーシア向け(5月10日～、4件) e)タイ向け(5月18日～、6件) f)ブラジル向け(7月14日～、1件) g)仏領ポリネシア向け(7月28日～、0件) h)クロアチア向け(10月26日～、0件) i)モロッコ向け(12月27日～、0件)</p> <p>イ)H23年3月11日以降に産出又は最終加工された食品等についての日付証明等の発行〔947件〕</p> <p>a)EU・EFTA向け(4月27日～、590件) b)シンガポール向け(5月10日～、2件) c)韓国向け(5月10日～、289件) d)マレーシア向け(5月10日～、46件) e)タイ向け(5月18日～、15件) f)ブラジル向け(7月14日～、5件) g)仏領ポリネシア向け(7月28日～、0件) h)クロアチア向け(10月26日～、0件) i)モロッコ向け(12月27日～、0件)</p>	農政部 産業労働観光部
15 工業製品の放射線量測定支援	<p>県内で製造された工業製品の放射線量測定を県産業技術センターで実施</p> <p>①GMサーベイメータによる工業製品の放射線量の測定(食品・飲料の内容物を除く)(H23年4月19日開始) H23年12月31日現在 受付139件 537検体</p> <p>②ゲルマニウム半導体検出器型放射能測定装置による工業製品の核種毎の放射エネルギーの測定(食品・飲料の内容物を含む)(H23年8月19日開始) H23年12月31日現在 受付184件 331検体</p>	産業労働観光部
16 観光産業等の原子力発電所事故賠償請求に関する対応	<p>①原子力損害に関する産業・観光関係団体説明会の開催 H23年8月23日(宇都宮)、9月30日(宇都宮)</p> <p>②原子力損害賠償相談窓口(観光・商工分野)を設置 H23年9月30日設置 H23年12月31日現在 相談 25件</p> <p>③東京電力㈱に対し観光業の風評被害に係る賠償額算定方法の改正等について要望(H23年10月7日)</p>	
17 下水汚泥等の放射性物質調査	<p>①下水道資源化工場において、溶融スラグ、溶融飛灰の放射性物質濃度を測定(毎月1回)</p> <p>②県内7流域下水道浄化センターにおいて、下水汚泥の放射性物質濃度を測定(毎月1回)</p> <p>③下水道資源化工場及び一時保管場所(県央浄化センター、北那須浄化センター)の敷地境界4カ所で、空間放射線量を毎日測定</p>	県土整備部
18 浄水発生土等の放射性物質調査	<p>①北那須水道事務所及び鬼怒水道事務所の浄水発生土を搬出時に測定</p> <p>②北那須水道事務所及び鬼怒水道事務所の敷地境界4カ所で、空間放射線量を毎日測定</p>	企業局
19 樹皮の処分等に要する経費の助成	製材工場等に滞留している樹皮の処分や一時保管場所への運搬等に要する経費の助成	環境森林部
20 県営都市公園の放射性物質調査	県営都市公園(9公園)において、空間放射線量を測定(H23.9月～ 毎月1回)	県土整備部
21 健康影響に関する有識者会議の開催	健康影響に対する県民の不安を払拭することを目的とし、専門的見地から、放射線の影響についての客観的な評価、県としての対策の必要性、県民への情報提供方法等について検討	保健福祉部

◎放射線測定機器の状況

放射線測定機器の状況									
	県民	環森	保福	産労	農政	県土	企業	教委	計
ゲルマニウム半導体検出器 (水、大気、食品、土壌、農畜産物、産業製品等精密検査用)			1	1	1				3
各種サーベイメータ等 * (空間放射線、表面汚染等簡易検査用)	5	17	44	7	27	9	2	15	126
個人被ばく線量計			60		21				81
合計	5	17	105	8	49	9	2		210
* : GMサーベイメータ、シンチレーションサーベイメータ等									
数値は12月末日までに配備見込みの台数									

◎風評被害対策

支 援 策	概 要	所 管
<p>1</p> <p>観光誘客活動</p>	<p>1 とちぎ観光安全宣言(H23年4月5日)</p> <p>2 国内誘客対策</p> <p>①安全宣言PR活動(都内大手旅行代理店、首都圏の都県・政令市等)</p> <p>②観光業の支援等に関する国への緊急要望(H23年4月19日)</p> <p>③東武鉄道への観光安全宣言中吊り広告(H23年4月22日～5月8日)、主要駅へのポスター掲出(4月26日～)及びJR東日本へのポスター掲出(6月3日～)</p> <p>④「とちぎを旅して とちぎに泊まろう」(一家族・一旅行運動)キャンペーン(H23年4月22日～)</p> <p>・特典イベント等のPR(4月27日～)</p> <p>・県内有料道路5路線無料化(4月29日～5月8日) (利用台数661,575台 対前年比161.1%)</p> <p>⑤げんき栃木!夏の観光キャンペーン(H23年7月20日～9月30日)</p> <p>⑥「栃木県観光応援プロジェクト」の実施(H23年10月14日～) ※県庁内においては、7月から「県庁観光応援プロジェクト」を実施中</p> <p>⑦「栃木県観光振興・復興県民会議」の設立 H23年12月19日、第1回会議開催。県民や全国に向けたメッセージを決議したほか、国への要望事項を取りまとめた。</p> <p>⑧「やすらぎの栃木路」冬の観光キャンペーン (H23年12月1日～H24年2月29日)</p> <p>⑨各種フェア・イベントの開催等</p> <p>ア)がんばろう!とちぎの観光フェアの開催 (H23年4月17日 佐野)</p> <p>イ)がんばろう日本!とちぎの観光と農産物フェアの開催 (4月22日・23日 池袋)</p> <p>ウ)北関東3県「茨城・栃木・群馬の物産と観光展」の開催 (4月28日～5月5日 水戸)</p> <p>エ)がんばろう日本!とちぎ観光物産フェアin大黒PA (5月3日・4日 大黒PA)</p> <p>オ)JR東日本「応援産直市」 (5月3日～7日 JR上野駅・秋葉原駅・大宮駅)</p> <p>カ)東北・関東エリア応援企画「大応援物産フェア」の開催 (5月23日 丸ビル)</p> <p>キ)ファベックス2011「特設展示コーナー」への出展 (6月1日～3日 幕張メッセ)</p> <p>ク)北関東3県「栃木・茨城・群馬の物産と観光展」の開催 (6月1日～6日 宇都宮)</p> <p>ケ)東日本復興イベント (6月4日～5日 上野)</p> <p>コ)食べて応援しよう!東日本野菜フェア (6月10日 東京 丸の内)</p> <p>サ)県民の日記念イベント「とちぎの観光と物産フェア」 (6月14日～20日 小山)</p> <p>シ)東日本復興支援イベント (6月18日～19日)</p> <p>ス)佐野プレミアムアウトレット観光PR (7月3日 佐野)</p> <p>セ)栃木へ来らっせ!フェア (7月23日・24日有楽町駅前、7月30日・31日横浜公園)</p> <p>ソ)日光夏祭 (7月30日 日光市内)</p> <p>タ)2011サマーフェスティバルin海ほたる (8月4日 東京湾アクアライン 海ほたるPA)</p> <p>チ)第14回栃木・福島の物産と観光展 (8月25日～30日 船橋市 東武百貨店船橋店)</p> <p>ツ)インディジャパン ザ ファイナル 観光物産PR (9月17日～18日 ツインリンクもてぎ)</p> <p>テ)とちぎ“食と農”ふれあいフェア2011 (10月15日～16日 栃木県庁・周辺施設)</p> <p>ト)オータムフェスティバル2011 (10月16日 国営ひたち海浜公園)</p>	<p>農政部</p> <p>産業労働観光部</p> <p>県土整備部</p>

◎風評被害対策(つづき)

支援策	概要	所管
観光誘客活動(つづき)	<p>ナ) とちぎのいいものステーション2011 (10月18日～19日 メトロポリタンプラザビル(JR池袋駅直結))</p> <p>ニ) 食べて応援しよう! 東日本野菜フェア (10月20日 東京海上日動ビル本館1階外部テラス)</p> <p>ヌ) 第25回青山まつり よみがえれ日本 (10月22日～23日 青山通り)</p> <p>ネ) 地方銀行フードセレクション2011 (11月1日～2日 東京ビックサイト)</p> <p>ノ) 秋の大応援物産フェア (11月4日 丸ビル1階マルキューブ)</p> <p>ハ) スポレク“エコとちぎ”2011 (11月5日～6日 県総合運動公園)</p> <p>ヒ) 被災地復興支援観光物産PR展 (11月6日 東京都庁議会棟前屋外広場)</p> <p>フ) 「がんばろう! 栃木」復興応援セールin小山 (11月17日～20日 イオン小山店)</p> <p>ヘ) 応援工芸市 (11月19日～21日 JR秋葉原駅改札内)</p> <p>ホ) Enjoy Honda MOTEGI 2011 (11月23日 ツインリンクもてぎ)</p> <p>マ) 地域力宣言2011 ニッポン観光物産展 (11月25日～27日 池袋サンシャインシティ)</p> <p>ミ) ぐんま・とちぎ・いばらき観光物産展～inグリーンドーム前橋～ (11月26日～27日 グリーンドーム前橋)</p> <p>ム) 2011東武ファンフェスタ (12月4日 東武鉄道南栗橋車両管区(車両工場))</p> <p>メ) 「やすらぎの栃木路」冬の観光キャンペーンPRイベント (12月18日 イオンモール羽生)</p> <hr/> <p>3 インバウンド(外国人誘客対策)事業</p> <p>①外国人留学生を対象とした視察旅行の実施 (H23年5月31日～6月1日 1泊2日 日光)</p> <p>②駐日大使館員 日光・鬼怒川温泉ツアー(H23年6月25日～26日)</p> <p>③平成23年度中国青年代表団第2陣・メディア分団 (中国メディア34社)に対する観光PR(H23年8月26日)</p> <p>④台湾誘客プロモーション(H23年8月29日～9月1日)</p> <p>⑤中国誘客プロモーション(H23年12月6日～10日)</p>	<p>農政部</p> <p>産業労働観光部</p> <p>県土整備部</p>

◎風評被害対策(つづき)

支 援 策	概 要	所 管
<p>2</p> <p>外国人誘客における風評被害を払拭するための情報発信</p>	<p>①県ホームページ等の活用による県内在住外国人のメッセージ発信(H23年5月14日掲載)</p> <p>②在県外国人等から海外へのメッセージ発信依頼(知事コメント添付)</p> <p>・依頼先: 在県外国人、県内に本社を有する企業、在外の本県関係者〔栃木友人会、県企業人会、とちぎ未来大使、栃木県人会、(財)自治体国際化協会(含7海外事務所)](H23年4月27日～)</p>	<p>産業労働観光部</p>
<p>3</p> <p>農産物の安全性PR活動の実施・支援</p>	<p>1 県内外におけるキャンペーンの実施</p> <p>(1) 県内</p> <p>①「がんばろう栃木の農産物フェア」9回 (県庁内:3/30、4/18、5/18、6/15、7/15、8/10、9/16、11/18、12/16)</p> <p>②とちぎ食の回廊キャンペーン (県内道の駅等:4/29～5/15)など</p> <p>③「とちぎ食の回廊ツアーコンベンション」 (茂木町・那須烏山市・那珂川町・市貝町:6/23)</p> <p>④NEXCO東日本「食べて元気だ! 栃木産～とちぎの元気な農産物フェア」(佐野SA:6/4、那須高原SA、上河内SA、佐野SA:7/10)</p> <p>⑤ がんばろう日本! 元気はとちぎから 栃木は安全安心 (栃木SCコラボ企画 県グリーンスタジアム:8/21、11/26)</p> <p>⑥NEXCO東日本等「とちぎ食の回廊キャンペーン」 みぶハイウェイパーク、上河内SA、佐野SA:9/17、なかがわ水遊園:9/18)</p> <p>⑦栃木の牛肉・米 安全安心キャンペーン 県段階: 県庁内:9/16、県総合運動公園(全国スポレク):11/5、宇都宮市食肉市場:12/3 市町・JA段階:9/16～10/2にかけ32回、延べ42日間実施</p> <p>⑧とちぎ“食と農”ふれあいフェア2011(県庁:10/15～16)</p> <p>⑨いい夫婦の日にショートケーキを贈ろうキャンペーン(県庁:11/22)</p> <p>2 情報発信</p> <p>・県庁ホームページによる農産物の安全性などに関する情報発信</p> <p>・ウェブサイトを活用した農産物の安全性PR</p> <p>・農産物の安全性PRポスター及びチラシの作成</p> <p>・下野新聞における農産物安全性PR広告の掲載</p> <p>・「田園風景百選」「食の回廊」などを活用したTV番組(在所一番、女子チャリ)による農産物の安全安心及び誘客促進PR</p> <p>3 リスクコミュニケーション</p> <p>放射線に関する正しい知識を普及啓発する講演会(リスクコミュニケーション)の実施(5/26～7/26、12/1、12/21)など</p>	<p>農政部</p> <p>産業労働観光部</p>
<p>4</p> <p>「とちぎは安全安心」マグネットステッカー</p>	<p>とちぎの「空気」「水」「食べもの」の安全安心をPRするマグネットステッカーを作成し、県公用車などでPR</p> <p>・6月中旬から県職員生活協同組合において、大(A3)、中(A4)、小(A4横半分)の3種類を販売</p> <p>平成23年8月25日現在の実績 3種類合計 1,562枚</p>	<p>復興推進本部</p>